

市
議
会
報

大 野 市

№.48

発行 大野市議会
TEL 6-1111
(内線 303)
印刷 松浦印刷



西小体育館の全景と元気よく遊ぶ子供達

12月定例会

地方の公共交通確保

に関する意見書を可決

堀兼線、木本線、大矢戸線などの廃線反対

一般会計補正予算 1億7,485万円追加

第196回定例市議会は12月14日招集され、会期を22日までの9日間と決め、「昭和56年度一般会計補正予算案」「職員の給与に関する条例の改正案」など市長提案の19議案を審議しました。その結果「議案第55号昭和55年度歳入・歳出決算認定について」は決算特別委員会を設置、委員を別掲のとおり選任してこの委員会に付託し、慎重に審査するため継続審査としました。他の18議案については、原案どおり可決しました。また請願・陳情を別掲のとおり決め、最終日には議員提案の「地方の公共交通確保に関する意見書」「道路財源確保に関する意見書」を可決し、22日閉会しました。

12月定例会審議日程

- 14日 本会議（会期の決定、議案上程、提案理由の説明）
- 16日 本会議（一般質問、決算特別委員会の設置、各案件委員会付託）
- 17日 委員会（建設・産業経済常任委員会）
- 18日 委員会（総務・教育民生常任委員会）
- 21日 委員会（決算特別委員会）
- 22日 本会議（各委員長報告、質疑、討論、採決）

繊維産業の 不況対策について

問 当市の基幹産業である繊維産業が深刻な不況に見舞われ、業者は転廃業を余儀なくされようとしている。業者自身も新製品の開発や研究などに全力を挙げて取り組んでいるが、市も行政として韓国産の輸入規制を国・県に強く訴えて欲しい。

答 大型機械の導入などについて、資金面等で地場産業育成の立場から、市が利子補給を行ってきている。韓国産の流入規制については、織物組合や県等とも十分協議し、各関係自治体とともに、国に対して要望していきたい。繊維産業が壊滅的な打撃を受けないよう、行政として最大の努力をしたい。

義務教育施設充実に対する 寄付問題について

問 義務教育に対する父兄負担問題が物議をかもしている今日、学校の施設充実にPTAの寄付行為が目立っているが、この問題についてどう考えるか。

答 父兄からの寄付は本来受けるべきではないと思うが、最近の教育

は年々多様化、高度化してきており、善意としてこれまで受けてきた。今後は慎重を期したい。尚徳中のPTAがクラブ活動器具保存倉庫建設の寄付金を集めているらしいが、これを受けるかどうか検討中である。

都市計画街路 清滝線と新庄東中線の 整備について

問 南部第2土地区画整理地区内には、清滝線と新庄東中線の2本の都市計画街路があるが、少しも進展していない。予定線付近の住民に対する説明が不徹底なためではないか。

答 付近住民への説明に不十分な点があれば、一層精力的に話し合いをしていきたい。新庄東中線については、一部楯掛地区の用地買収も妥結したので、今議会で補正を提案した。この線を一層推進するため“住宅宅地関連整備事業”を取り入れていくことも考えていきたい。



新庄東中線の早期整備が望まれる(春日地区)

決算特別委員会を設置

「昭和55年度大野市歳入歳出決算認定について」を審査するため、6人の委員で構成する特別委員会を設置し、閉会中も引き続き審査することになりました。委員は次のとおり。

- ◎西川 文人 ○平間 源治
- 大藤原 登 安田 武雄
- 推井 清男 山本 武
- (◎委員長 ○副委員長)

議案等の審議結果

議案番号	件名	結果
第四十七号	昭和五十六年度大野市一般会計補正予算(第三号)	原案可決
第四十八号	昭和五十六年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)	"
第四十九号	昭和五十六年度大野市簡易水道事業	"

終末処理場用地の 確保について

問 終末処理場の用地確保については、当市の懸案事項として、その促進方を強く要望してきたが、少しも進んでいない。付近にあった市有地も安易に処分したとも聞かすが、市は今後いかに取り組む考えか。

答 市有地の処分については清滝川の改修と用地確保の話し合いを進める中で、土地を提供した。予定地の土地所有者と買収交渉を続けているところである。

勤労者生活安定資金 増額について

問 市が預託し労働金庫が貸し出している勤労者生活安定資金は、低利で勤労者や自営業者などに大変喜ばれていると聞かすが、既に資金枠もいっぱいでは借りられないので、増額して欲しいとの要望があるが、どう考えるか。

答 当初予算3,500万円(貸出総額7,000万円)でスタートしたが、今年度から1回の貸付限度額が50万円から70万円に増額したことなどによって、11月末で資金枠がなくなったと聞いている。増額については新年度の当初予算を組む段階で十分検討したい。

地下水対策として善導寺川に帯工を入れる考えはないか

問 地下水対策として善導寺川に帯工を入れて、地下浸透を図る考えはないか。

答 地下水の^{かん}養策として帯工を試験的に入れてみたい。結果がよければ、県が管理する河川にも入れるよう要請したい。

障害者のタクシー運賃割引について

問 現在、障害者にはバス等の公共的な乗り物については割引制度があるが、タクシーの割引についても取り入れていく考えはないか。

答 現在のところ実施する考えはない。障害者が自動車を保有する場合補助金や税制上の優遇措置もあり、盲人に対してはガイドヘルパーの制度もあるので、これを充実していく方向で検討したい。



積雪地帯の自動車税減額地域の拡大について

問 積雪地帯に対する自動車税の減額措置は、県の条例で現在中島、宝慶寺、打波の各地区が対象になっているが、これを大野市全域に広げるよう県に働き掛けて欲しい。

答 対象地域を広げることは県にも

要望しているが、ある地域を広げると、それが連鎖的に他地域に順次拡大していく恐れがあるので、非常に難しいと聞いている。

**交通体系の整備について
—道路と鉄道の二大動脈
どちらを優先か?—**

問 国道 158号線の早期改良と越美北線の存続運動とは、どちらを優先して進めるのか。

答 鉄道と道路の二大動脈はともに必要で、当市発展上不可欠の問題であり、運動は併行して進めたい。

人 事

教育委員会委員の任命に同意

松田 理一氏 (55才)
(大野市要町1番14号)

公平委員会委員の再選に同意

永田 敏夫氏 (68才)
(大野市横枕第23号22番地)

**人権擁護委員候補者の
推薦に同意**

明石 匡夫氏 (63才)
(大野市東山第4号16番地)

地方の公共交通確保に関する意見書

地方における公共交通事業は、自家用車の急速な進展と社会経済の変動とあいまって、輸送需要が低下し、経営維持が困難となっている現状にあるが、地方公共交通は地域住民の日常活動に欠くことの出来ない幹線交通手段であることから、その運営の存続が強く望まれているところである。

しかしながら、去る七月六日公表された「運輸政策審議会」の答申によると、交通需要が減少している地域では、鉄道からバス、さらにはマイカー公共利用への転換、利用者負担の高運賃体系指向等の提言がなされており、このまま実施されますと当市においては越美北線をはじめ、昭和五十七年鉄道ダイヤ改正時には、越前大野駅の貨物取扱いが廃止され、またバス路線についても乗車密度が五人未満である第三種路線は同年九月で廃止されることになる。

その結果当市を含めた奥越地方の貨物輸送はすべてトラック輸送に依存しなければならず、生活バス路線についても、堀兼線、木ノ本線及び大矢戸線が廃止されることになり、当市の公共交通体系の混乱と衰退をまねくことが懸念される。

よって政府におかれましては、この答申の実施にあたっては慎重に対処し地方の実情と意見を十分に尊重され、地方公共交通の確保を図るため、総合的な施策を確立し、所要の措置を講ずるよう強く要望する。

以上、地方自治法九十九条第二項の規定により意見書を提出する。
昭和五十六年十二月二十二日

福井県大野市議会

大東染工の移転促進 について

問 大東染工の移転については、4年前に用地も麻生島地区に確保、その促進方を強く要望してきたが、計画どおり進んでいない。地下水や汚染の問題などから、一日も早く移転して欲しいとの住民の強い声もある。市が融資をして積極的に促進する考えはないか。

答 今日の景気の低迷やその他の事情で移転が遅れている。市は資金を融資する旨を申し入れてあるが、今後さらに話し合いを進め、融資に応じるよう指導したい。早期に移転出来るよう市としても最大限の努力をしたい。

大 東 染 工



越美北線の存続と利用 拡大について

問 越美北線のダイヤ改正、北大野駅周辺整備、大野駅の東口の開設、運賃助成などで利用拡大を図ってはどうか。また来秋のダイヤ改正に伴い貨物取扱いの廃止や、公共バス路線の第2種、第3種（堀兼、木本、大矢戸の各線）の生活路線バスが廃止されるとも聞くが、どうか。

答 ダイヤ改正については、今後とも要請は続けていきたい。北大野駅周辺の整備については、道路や駐車場などの整備に一層努力したい。運賃の助成については、和泉村の例のように効果も薄いと聞くので、問題が多いと思う。東口の開設については国鉄の合理化等で非常に難しいと思うが、駅東地区の住宅が増加し要

道路財源確保に関する意見書

昭和28年に道路整備のために特定財源制度が確立されて以来、わが国の産業の発展、国民生活の向上のために果たしてきた役割は、極めて大きなものがあると思われます。

しかしながら、近年、国民生活に急速に定着してきたモータリゼーションは、地方道路の整備が追いつかないという現象をもたらし、交通不能区間の確保等、今後に残された課題が山積しているのが実態であります。

しかるに、最近、国においては、財政再建のために道路特定財源制度を見直すような動きが顕在化しつつあるということは誠に遺憾であり、特に生活基盤の整備途上における本市においては、道路整備の計画年次に大きく遅れをとることも推測されるものであります。本市においてはよって、政府におかれては、これらの事情を十分ご勘案のうえ、昭和57年度予算編成に当たつて、道路特定財源の確保と道路予算の大幅な拡大を期されるよう強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条第2項の規定により意見書を提出いたします。

昭和56年12月22日

福井県大野市議会

し尿処理業者の許可 について

問 し尿処理業者許可をめぐる監査結果が出されたが、市は今後どう対処していくのか。

答 来春の許可証更新に当たっては、厳正な審査を行い、適正な業者だけ許可していく方針である。また区域割や投入量の制限等の撤廃についても十分検討したい。

望も強いので、大きな課題として国鉄に要望したい。

貨物の取扱いについては、国鉄再建の中で廃止すべく検討中と聞くが、ダイヤ改正と併せて運動していきたい。

公共バスについては、乗車人員は現在1日に3.5人程度であり、5人以上にしないと廃止になると聞く。しかし京福は存続したいとの意向であり、今後下庄・上庄地区等に出向き、市と会社の三者で協議会を設置し、国に補助金を打ち切らないよう運動していきたい。



越前大野駅の貨物取扱い

委員会報告

—各委員長報告から—

●建設委員会

①除雪対策について

本年度の除雪計画については、る説明があったが、56豪雪の教訓を踏まえて、次の点について十分注意し、さらに除雪体制に万全を期するよう要望する。

- (イ) 取水量の有効かつ効率的の使用を図るため、根本的な利水計画を立てて、水路の改修を促進されたい。
- (ロ) 除雪の際における業者間の不均衡、業者よりの寄付金問題、民間借上げ車に対する厳正なチェック体制などに十分留意されたい。
- (ハ) 除雪経費不足の場合は、市において弾力的に対処されたい。
- (ニ) 各関係機関との総合的な除雪体系のもとに、主要道路の確保はもとより、越美北線についても今冬見られたような交通マヒが起きないように要望する。

②南部第2土地区画整理事業の促進について

本事業には国道157号線の改良をはじめ、木瓜川の改修等重要かつ大きな事業が含まれており、しかも市が今後遂行しなければならない街路事業の代替地の問題など、事業施工の遅延は市の発展に大きく影響するので、57年度着工に向かって積極的に取り組まされたい。

●教育民生委員会

①高齢者の健康管理に対する予防行政について

高齢化社会の進むにつれて、老人に対する保健指導の推進は極めて大

切である。このため老人健康診査の実施、老人保健学級、適度なスポーツ教室等を推進すべきである。さらに母子保健、成人保健など市の果たすべき役割は極めて大きく、これら行政需要は広範かつキメ細かいものであり、これに機動的に対処し得るのは市当局より他にはない。健康でやすらぎのある生活を目指した医療と保健事業の一貫性のある総合的な保健医療制度の検討が重要である。幸い4月に保健センターもオープンするので、これら一連の問題に対処するため、同センターを効率的かつ有効に運営して、予防行政の推進に一層努力されたい。

②新年度の国民健康保険税負担増について

57年度の国保税の伸び率が約21%増になると聞く。国保会計は独立採算が建前とはいえ、大半が老人あるいは低所得階層の世帯で占められている現状から考え、21%増の税負担は市民生活に及ぼす影響も大きい。国・県に対し国民健康保険制度の根本的な改正を呼びかけるとともに、国保会計の財政調整基金を取り崩すとか、あるいは極力一般会計からの繰出しを行うなどして税負担の軽減に努められたい。



●総務委員会

①克雪対策について

降雪期を迎え当面する問題ならびに長期的な対策として、次の点について強く要望する。

- (イ) 56豪雪を教訓として明るい雪国生活を築くため、56年8月に克雪市民会議が発足したが、さらに行政と市民が一体となった総合的な克雪対策を推進するため、組織の充実、強化を図るとともに、市民の積極的な協力を得るため、審議結果をいち早く市民に周知徹底することが肝要である。
- (ロ) 市街地の暗きよはゴミや土砂等がたまり、円滑に流れていないように思うので、市民の協力を得るとともに、市自体も対策を講じ流水に万全を期されたい。
- (ハ) 57年3月末日に行われる水利権の許可更新に際しては、今日までの各種要因が当市に及ぼした実情等を国・県に強く訴え、取水量の増加については不退転の決意をもって臨まれたい。
- (ニ) 赤根川、清滝川等の上流にダム、頭首工を設置することや、各河川に帯工を入れるなどして、水資源の確保と地下水のかん養に努力されたい。

請願・陳情審議結果			
番 号	件 名	提 出 者	結 果
請願12号	民間保育行政について	民間保育園保護者会連合会 副会長 前川 進蔵外24名	採 択
陳情20号	新庄区の水路改修について	新庄区長 尾崎 暉雄	継続審査
陳情21号	借入金に対する助成について	大野織物工業協同組合 理事長 斉藤 政雄	採 択
陳情22号	預託金の増額について	福井県労働金庫 理事長 斉藤 敬一	採 択
陳情23号	預託金の増額について	福井県労働金庫 理事長 斉藤 敬一	採 択
陳情24号	地場産業振興開発センター建設について	大野縫製産業協同組合 理事長 川田 岩雄	採 択
陳情25号	婦人会連絡協議会への助成について	大野市婦人会連絡協議会 会 長 永田 房子	継続審査